

細胞検査士を目指す方（学生）へ

— 診療を支える“細胞診”の専門職へ —

患者さんの未来に、
あなたの一歩を。

地域病院の細胞検査士は、診療の入り口として重要な役割を担っています。



救急・内視鏡室・外来・病棟などへ on site 検査・迅速検査を積極的に実施

迅速な判断が求められる現場で、確かな細胞診断を提供し、診療のスピードと質を支えます。



「診療に溶け込む専門職」の育成を目指しています。

医師や看護師と連携し、チーム医療の一員として、確かな専門性を発揮します。



研修は教科標本だけではなく、日常の様々な臨床症例を経験します。

実際の検体に触れ、リアルな症例を通して知識と判断力を身につけていきます。



「細胞を見る」のではなく、「病態から細胞を診る」専門技術と知識と一緒に
磨いていきましょう。

背景にある病態を理解し、臨床につながる細胞診を目指します。



私たちが目指す検査室の姿

- ✓ 確かな専門性で診療を支える検査室
- ✓ 安全・正確・迅速を徹底した検査室
- ✓ チーム医療の中で信頼されるパートナー
- ✓ 学び続け、共に成長する職場環境

近年の細胞学会・臨床学会の学術実績



第57回日本臓器学会大会（2026年）

『十二指腸液（Vater乳頭分泌液）の細胞学的スクリーニング
の実用性について』



第64回日本臨床細胞学会秋期大会（2025年）

『当院産婦人科外来の子宮頸部細胞診検送検体に対する
LBC法導入後の比較・実態調査』



第65回日本臨床細胞学会春期大会（2024年）

『膵High grade PanIN・上皮内癌の診断に細胞診が寄与した
13例の後方視的考察』



第65回日本臨床細胞学会春期大会（2024年）

『ENPD留置下模倣回腸液細胞診（SPACE）で経験した
High grade PanIN6例の細胞像の考察』



第65回日本臨床細胞学会春期大会（2024年）

『当院で経験した乳腺Adenomyoepitheliomaの2症例における
筋上皮細胞の考察』



第70回日本医学検査学会（2022年）

『組織型判別に苦慮したNon-Invasive Follicular
Thyroid neoplasm with Papillary like feature（NIFTP）
の1例』

症例実績と計画的な研修



組織検査4600件、
細胞診8000件、剖検20件。



細胞検査士と認定病理技師の
ダブルライセンスを取得した
技師で構成。



新卒入職後に計画的な実務経験を
重ねて資格合格の実績を
積んでいます。

地域医療の最前線で、あなたの専門性を活かしませんか？

見学・ご応募をお待ちしています！

